

| | | | |
|---------------------------------|---|---------|------|
| 科目名：社会福祉論・ボランティア論 | | 選必 | 2 単位 |
| (社会福祉論・ボランティア論) | | | |
| 履修年次/時期：2 年次前期 | | 授業形態：講義 | |
| 担当教員：戸田 真司（実務経験有）、中向井 政子（実務経験有） | | | |
| 学修目的 | 歯と口腔の健康と予防に関わる社会の仕組みを学修する。少子・高齢化が急速に進展している日本の社会状況において、歯科口腔保健・医療を通じて患者や地域住民の生活を支えていく歯科衛生士の役割は重要である。人々の生活にかかわる問題は多岐にわたっていることから、社会保障制度を正しく理解し、患者を含めた地域住民の社会支援に必要な基礎的知識を修得する。また、今日の地域社会づくりを支える、自発的な社会貢献や福祉活動等に対する意識や関心を高めるボランティア活動に関する基礎的知識を修得する。 DP 1(1),2(2),2(3) CP 1,2 に関連する。 科目 No.S2D15S22 | | |
| 到達目標 | 歯科衛生士として患者ならびに地域住民の生活支援を行う際に必要な社会福祉制度の知識を修得する。 ①社会保障を説明できる。 ②社会保険を説明できる ③公的扶助を説明できる。 ④社会福祉を説明できる。 ⑤ボランティア活動について活動の実際を含めて説明できる。 | | |
| 授業概要 | 講義：社会保障制度の全体像を把握し、医療、介護、年金、雇用、労災の社会保障制度、ならびに生活保護、児童手当などの社会福祉制度を学び、社会保険の特徴や社会福祉制度の特徴を理解する。また、身近な社会福祉活動として、ボランティア活動の歴史・背景や実践方法、活動の実際を理解する。授業ごとに資料を配布し、スライドや黒板を適宜使用する。 学生諸氏はシラバスに沿って予習を行うとともに、用意された課題に取り組む。授業ごとにできるだけ早いタイミングで事後学習に取り組み、得られた知識を整理し修得する。 | | |
| 評価方法 | 提出物にて評価を行う。（評価対象は期日までに提出されたものとする。） 授業への参加度に応じて加点を行う。 授業中の私語や指示のない携帯端末の使用など、不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。 提出物に対するフィードバックを行う際には、原則として掲示にて行う。 | | |
| 予習・復習時間 | 【予習】 2.0 時間 【復習】 2.0 時間 | | |
| 教科書 | なし | | |
| 参考書 | 授業中にお伝えします。 | | |
| オフィス-連絡先 | 戸田真司：月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 4 号館 2 階（戸田研究室） toda.s@kdu.ac.jp 事前にメールをいただくと円滑に対応できます。 中向井政子 月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 3 号館 2 階（中向井研究室） nakamukai@kdu.ac.jp 事前にメールをいただくと円滑に対応できます。 | | |